

| | | | | | | | |
|----------|---|--------------|-----|----------------------|-----|--------|--------------|
| 施策の柱 | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施策 | ①文化財の保護と活用 | | | | | 文化財保護課 | B |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。 ・文化財の保護に努めるとともに、文化の価値を生かした活用を積極的に図ります。 ・地域の文化財をその周辺環境も含め、総合的に保存活用していくための基本構想を策定します。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財数257件(前年度比100%) ・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:4件(前年度比57%) 試掘調査件数:92件(前年度比128%) ・その他文化財調査件数:5件(前年度比71%) ・埋蔵文化財出土品貸出件数:6件(前年度比:100%) | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 指定等文化財数 | | | 【説明】 市、県、国指定等文化財数 | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値 (H21) | 実績値 | | | | 目標値 (H27) |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | 件 | 246 | 250 | 252 | 256 | 257 | 255 |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・新指定文化財として新たに1件が指定されました。 ・埋蔵文化財の試掘調査件数は増加し、記録保存のための発掘調査は適切に行われました。 ・出土品の他市等への貸出はありましたが、学校の事業への活用は進みませんでした。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | 埋蔵文化財の活用にあたり、調査期間中の現地説明会の開催等により広くその重要性の周知を図ります。また、学校との連携を図り出土品の貸出しや出前講座等を推進します。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|---|--|-----|-----|-----|--------|-------|
| 施策の柱 | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施策 | ②文化財保護意識の啓発 | | | | | 文化財保護課 | B |
| 施策の内容 | 国民の財産である文化財の価値を市民に周知し理解を深めるために、文化財保護意識の啓発に努めます。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・最新遺跡発表会参加者数:32人(前年度比51%) ・文化財防火訓練参加者:113人(前年度比102%) ・職員の講師派遣:9回(前年度比:75%) ・啓発用刊行物:改訂1件「文化財散策マップ」(前年度比25%) | | | | | | |
| 成果実績 | 項目名(単位) | | H23 | H24 | H25 | | |
| | 最新遺跡発表会参加者数(人) | | 61 | 63 | 32 | | |
| | 啓発用刊行物の新規・改訂刊行数(件) | | 0 | 4 | 1 | | |
| 評価の理由 | 最新遺跡発表会、職員の講師派遣回数は減少しましたが、文化財防火訓練の参加者は増加しており、概ね順調に進ちよくしております。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | <ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業の開催等に関わる広報をより広く展開します。 ・文化財保護活動団体や学校等と積極的に協働を図りながら、文化財保護意識の啓発に努めます。 | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | |
|----------|--|-----|-----|--------|----------|
| 施策の柱 | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施 策 | ③民俗文化財の保存と後継者の育成 | | | 文化財保護課 | B |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 後継者養成を積極的に支援します。 | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> 川越氷川祭の山車行事保存会の開催回数:5回(前年度比125%) 博物館民俗芸能実演会:1回(中福の神楽)(前年度比:100%) 民俗文化財保存修理の補助事業件数:2件(前年度比100%) 無形民俗文化財後継者養成の補助事業実施団体数:15団体(前年度比100%) ※1 補助事業で保存修理された民俗文化財件数/民俗文化財件数(民俗文化財件数は民俗芸能又は行事に関わる有形文化財又は道具の件数:36件)×100 ※2 補助事業で後継者養成事業を実施した団体数/無形民俗文化財保存団体数(18件)×100 | | | | |
| 成果実績 | 項目名(単位) | H23 | H24 | H25 | |
| | 民俗文化財保存修理率(%)※1 | 8 | 6 | 6 | |
| | 後継者養成事業実施団体率(%)※2 | 94 | 83 | 83 | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財の保存継承に必要な会議や実演会を実施しました。また、継承していくために必要な道具等の保存修理を計画的に進めました。 後継者養成事業については、補助申請のあった団体に対して、すべて補助ができました。 健全な後継者育成の仕組みを確立することに課題がありますが、概ね順調に進ちよしています。 | | | | |
| 改善の方策等 | 保存団体と協力しながら、民俗文化財への理解が深まるような発表の場が更に増えるように努めます。また、健全な後継者育成の仕組みを確立するよう努めます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|---|----|-----------|--|-----------|-----------|-----------|
| 施策の柱 | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | 担当課 | 担当課評価 | | |
| 細 施 策 | ④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 | | | 都市景観課 | A | | |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 伝統的建造物の保存修理を計画的に実施し、地区の特性を生かした歴史的風致の維持・向上に努め、重要伝統的建造物群保存地区の保存整備を行います。 地区のPRや関連する事業との調整を行います。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | 修理1件(災害復旧) 山崎家土蔵 (二番蔵の漆喰壁及び水切りの修理等) 修理4件(通常) 松ヶ角家 (外観復原及び構造補強、老朽化や損傷部の修理等)ほか3件 伝統的建造物の特定4件 ・小鹿野家主屋 ほか3件 歴史的風致維持向上計画に基づく景観補助事業1件(街なみ環境整備事業) ・加島邸 (町並みに調和する店舗兼住宅の新築工事) 地区の啓発パンフレット等の作成 ・町歩きMAP(改訂版)ほか、地区の啓発パンフレットを作成 | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 伝統的建造物の修理件数累計 | | | 【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の件数 | | | |
| | 指標の推移 | 単位 | 現在値(H21) | 実績値 | | | 目標値(H27) |
| | 件 | 34 | H22 38 | H23 41 | H24 46 | H25 51 | H26 55 |
| 評価の理由 | 伝統的建造物の保存修理については、建物所有者の修理要望や保存対策調査などを計画的に実施したことにより、保存計画どおり順調に進ちよしています。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | 伝統的建造物の保存修理においては国庫補助を受けているため、計画的な保存修理が行えるよう、常に伝統的建造物所有者の意向把握を行い、関係機関との早期調整を図るよう努めます。 | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | |
|----------|---|---------|---------|---------|-------|
| 施策の柱 | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施 策 | ⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業 | | | 文化財保護課 | A |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財保存(維持管理・保存修理)の補助事業実施件数:26件(前年度比104%) 指定文化財管理報償金支給件数:149件(前年度比106%) 永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者人数:1,231人(前年度比52%) ※1 指定文化財の保存(維持管理・保存修理)のための補助事業件数/指定文化財件数×100(この場合の指定文化財(登録・選定・重要美術品は除く。)件数は、国・県・市指定の民俗文化財(有形・無形)を除いた件数:201件) | | | | |
| 成果実績 | 項目名(単位) | H23 | H24 | H25 | |
| | 指定文化財保存事業実施率(%)※1 | 9 | 12 | 13 | |
| | 川越城本丸御殿・蔵造り資料館・永島家住宅入館者数(人) | 209,754 | 207,907 | 216,151 | |
| 評価の理由 | 有形文化財の保存のための補助事業は、所有者からの申し出通り補助ができました。また、文化財管理者に対し管理報償金を支給して、適切な維持管理ができました。教育委員会が所管する3件の文化財の入館者数の合計は昨年より増加し、公開事業は順調に進ちよくしております。 | | | | |
| 改善の方策等 | 有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と文化財の価値を高めていく保存を継続して推進し、その上で文化財の活用を推進します。市所有の文化財についても、他課と連携して適切に維持管理し、更に活用が進むように努めます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|---|----------|------|--|-------|------|----------|
| 施策の柱 | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | 担当課 | 担当課評価 | | |
| 細 施 策 | ⑥河越館跡地等の整備・活用 | | | 文化財保護課 | B | | |
| 施策の内容 | 郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO、大学等と協働してその有効活用を図ります。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | 史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました(25年度実績値1)。 | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 | | | 【説明】 | | | |
| | ①河越館跡地の史跡公園整備率 ②国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計 | | | ①指定史跡面積中の公有化面積に占める整備面積の割合 ②河越館跡史跡公園を利用した事業の総数 | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値(H21) | 実績値 | | | | 目標値(H27) |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | ① % | 30.4 | 30.4 | 30.4 | 30.4 | 30.4 | 78.0 |
| | ② 件 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| 評価の理由 | 史跡公園を活用したイベントは、地元自治会・保存会を含む実行委員会形式で流鏝馬を実施しました。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | <ul style="list-style-type: none"> 2期整備に向けて、発掘調査から得られた成果の精査・検討を進めていきます。 今後の活用として、市主催の他に地元住民や隣接する小学校等が主催するような事業が実施されるように調整を図ります。 | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| 施策の柱 | | (1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用 | | | |
|--------------|---------------------------------------|---------------------|------|------|------|
| 施策評価 | 細施策 | 担当課 | 施策評価 | | 総合評価 |
| | | | 細施策 | 施策の柱 | |
| 施策評価 | ①文化財の保護と活用 | 文化財保護課 | B | B | B |
| | ②文化財保護意識の啓発 | 文化財保護課 | B | | |
| | ③民俗文化財の保存と後継者の育成 | 文化財保護課 | B | | |
| | ④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 | 都市景観課 | A | | |
| | ⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業 | 文化財保護課 | A | | |
| | ⑥河越館跡地等の整備・活用 | 文化財保護課 | B | | |
| 学識経験者等 意見 | 今後も継続して無形民俗文化財の後継者の育成を積極的に支援していただきたい。 | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | |
|----------|---|-----|-----|--------------------|-------|
| 施策の柱 | (2)川越らしい文化芸術の振興 | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施策 | ①連携・協働による新たな文化芸術の創造 | | | 文化スポーツ部 文化芸術振興課 | A |
| 施策の内容 | さまざまな団体や人々との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、本市にふさわしい新しい文化芸術の創造に努めます。 | | | | |
| 平成25年度実績 | 平成25年度は、①大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、②川越市民文化祭、③川越市美術展覧会、④文芸川越の発行、⑤2音大クラシック・コンサート、⑥小江戸川越第九の会演奏会、⑦川越囲碁まつり等の文化芸術事業を実施しました。 | | | | |
| 成果実績 | 項目名(単位) | H23 | H24 | H25 | |
| | 文化芸術団体との協働による文化芸術事業件数(件) | 5 | 6 | 7 | |
| 評価の理由 | 市内の文化芸術団体との連携・協働により文化芸術に関わる事業を実施しています。平成25年度も実績が伸びており、順調に進ちよくしています。 | | | | |
| 改善の方策等 | 本市の文化芸術団体と連携し、本市にふさわしい新しい文化芸術事業を実施することで、今後も恒例行事として定着するよう努めていきます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|---|--------------|-----|------------------------|-------|-----|--------------|
| 施策の柱 | (2)川越らしい文化芸術の振興 | | | 担当課 | 担当課評価 | | |
| 細 施策 | ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり | | | 文化スポーツ部 文化芸術振興課 | A | | |
| 施策の内容 | 新しい価値観を持つ若い世代の方々が、中心的に活躍してもらう環境を整え、文化芸術事業に積極的に参加・活動してもらうための事業を検討します。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | 昨年に引き続き、地域の中高校生、近隣大学生の参加を得て、大学ビッグバンド・ジャズフェスティバルを、また、市内にある尚美学園大学と東邦音楽大学と連携して、2音大クラシック・コンサートを市民会館大ホールにて開催しました。これは、市内に若い世代が集う機会と音楽を通じて活気のあるまちづくりを進めていこうとする目的で開催しました。 | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 若い世代の参加事業の取組 | | | 【説明】 若い人向けイベント年間開催数 | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値 (H21) | 実績値 | | | | 目標値 (H27) |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | |
| | 回 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 評価の理由 | 若い世代が参加できる事業として地元の中学生・高校生にも参加いただき、盛大に開催することができました。今後も継続性と発展性が期待できます。目標値は達成し、順調に進ちよくしています。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | 若い世代が文化芸術事業へ参加しやすい環境づくりを進めていくため、今後もさまざまな文化芸術に関する事業を企画していきたいと考えております。 | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | | | | |
|----------|--|----------|------|---|------|------|---------------------------|-------|
| 施策の柱 | (2)川越らしい文化芸術の振興 | | | | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施 策 | ③特色ある文化芸術拠点の整備 | | | | | | 文化スポーツ部 文化芸術振興課 美術館 | B |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に計画中的新ホールは、良質な芸術の鑑賞機会を提供するなど、市民はもちろん県西部地域の人々に親しまれる施設として整備します。 市立美術館は、質の高い芸術作品に触れる場とするとともに、市民の文化芸術活動の創作・発表の場として、整備充実を図ります。 | | | | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> 川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設の新ホールは、文化芸術振興施設として条例を制定するとともに、指定管理者の指定を行いました。 ①美術館で活動する市民ボランティアの質の高さを市内任意団体からも評価され、活動依頼があり、それに応えた結果、数値が伸びました。 ②数値をみると前年度を下回っていますが、平成24年度に引き続き平成25年度も目標値を達成しています。 | | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 ①教育普及ボランティアの活動実施 ②市民ギャラリーの利用促進 ③創作室の利用促進 | | | 【説明】 ①美術館市民ボランティアの活動回数 ②市民ギャラリーの利用年間稼働数 ③創作室の年間利用稼働率 | | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値(H21) | 実績値 | | | | 目標値(H27) | |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | |
| | ①回 | 0 | 20 | 26 | 49 | 62 | 20 | |
| | ②週稼働 | 45 | 49 | 42 | 51 | 49 | 47 | |
| ③稼働率/% | 46.6 | 44.0 | 43.0 | 43.9 | 47.1 | 65.0 | | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興施設は運営等を担う指定管理者を指定し、施設オープンに向けた協議を進めており、事業は概ね順調に進ちよくしています。 平成25年度と24年度の実績値を比較すると、①③とも増加しています。また②は数値をみると前年度を下回っていますが、平成24年度に引き続き平成25年度も目標値を達成しています。①②はすでに目標値を上回り、概ね順調に進ちよくしています。 | | | | | | | |
| 改善の方策等 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興施設は、平成27年のオープンに向け、指定管理者との協議を引き続き進めてまいります。 教育普及ボランティアの活動については、美術館内外においてより自主性をもち活動していけるよう、また継続して取り組んでいただけるよう、努めてまいります。 創作室・市民ギャラリーの利用案内を広報やホームページなどで、市民に更に周知します。 | | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | | |
|----------------|--|---------|------|------|------|--|
| 施策の柱 | (2)川越らしい文化芸術の振興 | | | | | |
| 施策評価 | 細施策 | 担当課 | 施策評価 | | 総合評価 | |
| | | | 細施策 | 施策の柱 | | |
| | ①連携・協働による新たな文化芸術の創造 | 文化芸術振興課 | A | A | | |
| | ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり | 文化芸術振興課 | A | | | |
| ③特色ある文化芸術拠点の整備 | 文化芸術振興課・美術館 | B | | | | |
| 学識経験者等意見 | <ul style="list-style-type: none"> 大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、2音大クラシック・コンサートなどは、若い世代が参加し活躍するイベントとして大変素晴らしい取組だと思う。今後もさまざまな文化芸術に関する事業を企画していただきたいと思う。 ジャズやクラシックに加えて、中高生、大学生、一般も参加できるような歌や合唱、ダンスなど、もう少し幅を広げてより多くの方が楽しめるようなフェスティバルを企画の中に加えていただくと良いと思う。 | | | | A | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | |
|----------|--|--------|--------|----------------|-------|
| 施策の柱 | (3)文化芸術に触れる機会づくり | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施策 | ①文化芸術が身近にある環境づくり | | | 文化スポーツ部 美術館 | B |
| 施策の内容 | 市民に良質な音楽、舞台芸術の鑑賞、また、市民のための文化芸術の発表と鑑賞など、身近なところで気軽に文化芸術に触れることができるために環境整備に努めます。 | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・常設展を開催し、小特集を組み、3か月に1度の展示替えを行いました。 ・タッチアートコーナーにて年4回の企画展示を行いました。 ・特別展を年4回開催しました。 (春)ポップアート (夏)マンガの花道・横道・迷い道 (秋)ジャパン・ビューティー 描かれた日本美人 (冬)国立美術館巡回展 西洋への憧れ個のめざめ | | | | |
| 成果実績 | 項目名(単位) | H23 | H24 | H25 | |
| | 常設展観覧者数(人) | 36,044 | 38,135 | 36,693 | |
| | 特別展観覧者数(人) | 28,110 | 29,565 | 26,706 | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の実績値が昨年度から減っているものの、概ね順調に進捗しております。 ・冬の特別展は巡回展であったため十分な会期がとれず、開催日数が通常に比べ半分程度でした。しかし、リピーターも多く、満足度の高い展示となりました。 | | | | |
| 改善の方策等 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで幅広い世代が美術を楽しめる展覧会の開催に努めます。 ・広報、ホームページ、プレスリリースなどを通して、広く周知を図ります。 | | | | |

| | | | | | | | |
|----------|---|----------|-----|--|-------|-----|----------|
| 施策の柱 | (3)文化芸術に触れる機会づくり | | | 担当課 | 担当課評価 | | |
| 細 施策 | ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり | | | 文化スポーツ部 美術館 | B | | |
| 施策の内容 | 次代を担う子どもたちが文化芸術に親しんでもらうために、鑑賞だけでなく、文化芸術に触れ、体験する事業を促進します。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが美術館を積極的に訪れ、アートに触れる機会を毎月設けましたが、台風・大雪の影響で2回が中止となりました。 ・川越市の美術文化を育むために、夏に中学校の美術部の祭典を実施、冬にはその継続事業として中学美術部員を対象とした講習及び館内での鑑賞、模写活動を実施しました。 ・川越市から県展覧会に出品された特選作品を一堂に展示し、出品者家族はもちろん市民に広くご高覧いただきました。 | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 | | | 【説明】 | | | |
| | ①ジュニアアートスクエアの開催 ②川越市立中学校美術部の祭典の開催 ③小中学生県特選美術作品展の開催 | | | ①子どものプログラムの実施回数 ②美術部展に参加している学校の数 ③展覧会の入場観覧者数 | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値(H21) | 実績値 | | | | 目標値(H27) |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | ①回 | 0 | 9 | 12 | 12 | 10 | 12 |
| | ②校 | 17 | 17 | 18 | 20 | 21 | 20 |
| ③人 | 367 | 360 | 313 | 330 | 274 | 700 | |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・①は毎月企画し、実施回数は昨年度から減ったものの、想定目標値は達成しました。 ・②は実績値が目標値を上回りました。 ・③は前年度を下回りました。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | <ul style="list-style-type: none"> ・①は形態を工夫し、より魅力ある企画として、継続して毎月実施していきます。 ・②は美術館という場を生かした活動を今後も続けていきます。 ・③はこのところ減少傾向であるため、広報を工夫しより多くの方にアピールしていきます。 | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| 施策の柱 | | (3) 文化芸術に触れる機会づくり | | | |
|--------------|--|-------------------|------|------|------|
| 施策評価 | 細施策 | 担当課 | 施策評価 | | 総合評価 |
| | | | 細施策 | 施策の柱 | |
| 施策評価 | ①文化芸術が身近にある環境づくり | 美術館 | B | B | B |
| | ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり | 美術館 | B | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 学識経験者等 学意 | 美術館の来館者を増やすためには、特別展を充実させる取組が必要になると 思うが、特別展や企画展の内容を充実させ、今後も幅広い世代が美術を楽し めるようにしていただきたい。 | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | | | |
|----------|---|--------------|---------------------------|-------|-----|-----|--------------|
| 施策の柱 | (4)文化芸術活動への支援と交流の促進 | | 担当課 | 担当課評価 | | | |
| 細 施策 | ①文化芸術活動への支援 | | 文化スポーツ部 文化芸術振興課 | A | | | |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を行う団体等への支援を継続するとともに、市民から寄せられる情報を効率的に収集し、適切に発信するよう努めます。 文化芸術の分野で顕著な成果を収めた人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を促進します。 | | | | | | |
| 平成25年度実績 | 平成25年度は、①川越市民文化祭の開催、②地区文化祭への支援、③川越市美術展覧会の開催、④文芸川越の刊行、⑤2音大クラシックコンサートの開催、⑥小江戸川越第九の演奏会の開催、⑦川越市総合文化祭開会式の開催等、市民の文化芸術活動を支援する事業を行いました。 | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 文化芸術の支援 | | 【説明】 文化芸術を発表する機会の年間事業数 | | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値 (H21) | 実績値 | | | | 目標値 (H27) |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | 事業 | 4 | 5 | 6 | 7 | 7 | 5 |
| 評価の理由 | 文化芸術団体への支援として各種事業を各団体と連携して実施し、既に目標値を超えています。また、文化芸術分野で功績のある方を川越市顕彰要綱による顕彰に推薦しており、事業は順調に進ちよしています。 | | | | | | |
| 改善の方策等 | 今後も、文化芸術を行う団体等への支援を継続し、市民の文化芸術活動の促進に努めます。 | | | | | | |

| | | | | |
|----------|---|-----|--------------------|-------|
| 施策の柱 | (4)文化芸術活動への支援と交流の促進 | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施策 | ②文化芸術活動の場の整備 | | 文化スポーツ部 文化芸術振興課 | A |
| 施策の内容 | 市民が身近なところで発表ができ、また、文化芸術の鑑賞ができるよう、施設及び場の整備に努めます。 | | | |
| 平成25年度実績 | 川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設の新ホールは、文化芸術振興施設として条例を制定するとともに、指定管理者の指定を行いました。 | | | |
| 成果実績 | 項目名(単位) | H23 | H24 | H25 |
| | 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)管理運営検討部会開催件数(件) | 5 | 15 | 10 |
| 評価の理由 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興施設は、約1,700席のホールをはじめ、リハーサル室や楽屋等の整備を進めており、施設稼働後は市民の発表及び文化芸術の鑑賞の場として活用されます。 施設の運営等を担う指定管理者を指定し、施設オープンに向けた協議を進めており、整備は順調に進ちよしています。 | | | |
| 改善の方策等 | 文化芸術振興施設は、平成27年のオープンに向け、指定管理者との協議を引き続き進めてまいります。 | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | | | | |
|----------|--|----------|---------|---------|---|---------|-------------------------------|-------|
| 施策の柱 | (4)文化芸術活動への支援と交流の促進 | | | | | | 担当課 | 担当課評価 |
| 細 施 策 | ③文化交流の促進 | | | | | | 文化スポーツ部 文化芸術振興課 国際文化交流課 | C |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の意見交換の場を設定し、ネットワークの強化を図ります。 中学生に海外姉妹都市での生活文化を体験させ、相互理解と交流を促進します。 | | | | | | | |
| 平成25年度実績 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の交流を図るため、平成25年度も川越市文化団体連合会と川越美術協会、地区文化祭実行委員会の協力により「総合文化祭開会式」を市民会館で開催しました。 セーレム市訪問中学生交流団22人の派遣を実施いたしました。 | | | | | | | |
| 指標及び説明 | 【指標】 文化施設の利用者数 | | | | 【説明】 市民の文化活動を促進するための文化施設の利用者 (ここでいう文化施設とは川越市市民会館・やまぶき会館・川越西文化会館・川越南文化会館・川越駅東口多目的ホール及び川越市立美術館) | | | |
| 指標の推移 | 単位 | 現在値(H21) | 実績値 | | | | 目標値(H27) | |
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | |
| | 人 | 593,643 | 569,301 | 537,052 | 590,295 | 555,479 | 1,000,000 | |
| 評価の理由 | 目標値は平成27年に完成予定の川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設にできる新ホールの利用者数を見込んだ数値です。平成24年度の市制施行90周年記念事業による利用者数の増加の影響を受けて、平成25年度の文化施設の利用者は若干減少しています。 | | | | | | | |
| 改善の方策等 | 文化芸術団体のネットワークの強化については、不十分な状況ですが、今後、文化芸術団体の交流の機会を設定し、各団体の情報等も提供できるよう努めてまいります。 | | | | | | | |

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

| | | | | | | |
|----------|---|---------|------|------|------|--|
| 施策の柱 | (4)文化芸術活動への支援と交流の促進 | | | | | |
| 施策評価 | 細施策 | 担当課 | 施策評価 | | 総合評価 | |
| | | | 細施策 | 施策の柱 | | |
| | ①文化芸術活動への支援 | 文化芸術振興課 | A | B | | |
| | ②文化芸術活動の場の整備 | 文化芸術振興課 | A | | | |
| ③文化交流の促進 | 文化芸術振興課・国際文化交流課 | C | | | | |
| | | | | | | |
| 学識経験者等 | セーレム市への中学生交流団の派遣については、予算の制約もあると思うが、より多くの生徒に国際交流の場を提供できるため、各校から男女各1名ずつ派遣できるようお願いしたい。 | | | | | |